

高津の水辺は美しいか

高津の水辺を歩き、よい所・悪い所を撮影して、みんなで検討しました。

まち歩きイベント・会議を開催

水辺の問題点を探る

6月18日午前10時、二子新地の岡本かの子文学碑前にまち協メンバーを含めて40人を超える人々が集合しました。この日はシルバーガイドの方々の案内で、多摩川や二ヶ領用水、円筒分水など高津の水辺を歩き、良いと思った所・悪いと思った所をデジカメで撮影し、午後からはその写真を持ち寄って整理し、グループ毎に発表し合う『まち歩き会議』が開催されました。



さあ出発！ 集合したまち歩き参加の人々

景色は日々変わっている

高津の水辺を歩いてみて、町の変化の速さに驚かされました。例えば、「高津のももちゃん」にも掲載したまちづくり資源、久地不動尊の蛇神様は塀で塞がれ見る事ができませんでした。久地不動尊の周辺は道路も付け替えられ、景色が大きく変わりました。風情があった昔の小道は、私有地なので入ることも出来なくなりました。

高津の景観は日々変わっています。個人の財産等との関係もあり難しい問題ですが、多くの人に親しまれてきた景色はなるべく残したいものです。変わるのであれば少しでも美しく変わって欲しいと思います。

落ち着きのある水辺のフェンス



塗り直して周囲に調和したフェンス

美しい景色に変わった水辺もありました。二ヶ領用水のフェンスは当初強い緑色と赤い線で塗装され、沿道に植栽された枝垂桜の花の色よりも目立っていました。しかし昨年度末に深い緑色に塗装し直したフェンスは水辺にうまく溶け込んでいました。

このように、うまく改修すると景色は見違えるように良くなります。美しい高津の景観を育てるために、色彩も総合的に検討しなければなりません。

出来ることから始めよう

『まち歩き会議』では、フェンスの塗り替えも結構だがそもそもフェンスが多すぎるのではないか、という意見も出ました。安全性も考える必要がありますが、最近整備された江川せせらぎ遊歩道にはフェンスは無く、それでも子供たちは安全に水に触れることができます。美しさを創出するために皆で地域をよく見て、出来ることから始めたいと思います。

参加者を募集しています。

あなたの住んでいる地域を知り、今までよりも一歩、まちのために活動を始めてみませんか？「高津区まちづくり協議会」ではあなたの参加をお待ちしております。連絡先は最終頁。

高津区民祭 ニヶ領用水ボートくんだり

たかつ水辺の風景部会

小さなボートに大きな水辺の夢を乗せて

～子供たち60名がニヶ領用水を下る～

昨年と比べると酷暑でないのが何よりでした。お世話役の多摩川リバーシップの皆さんも、2回目と言う事もあり、手馴れた動きでてきぱきと、スケジュールをこなしていました。

ボートへの空気入れ、「重い!重い!」を連発しながらのボート運び、心配げに



ボートを運ぶ子ども達

見守るお父さんやお母さんの顔などどこ吹く風、キラキラと輝く子供たちの目は、素晴らしく可愛く、頼もしい。短い距離でも嬉しそうに乗船し、慣れないボート漕ぎでしたが、十分に堪能してくれて、楽しい夏の思い出が提供出来たのではないかと思います。この子供たちは、将来自分の子供に、ニヶ領用水でボートに乗った喜びを語り、いつまでも心を癒すニヶ領用水であることを願うに違いありません。



ボート漕ぎの様子

放置自転車問題!

溝口駅周辺の放置自転車台数は、全国ワースト5。バリケードを設置したり、マナー啓発や撤去活動も行っているが、効果は上がっているのだろうか。

南武線と田園都市線が交差する溝口駅だけに、利便性も良く、通勤・通学に自転車やバイクが利用され、その結果あちこちから押し寄せる形になってしまった。2段式駐輪場の上段や3階以上の場所へ駐車するのは、朝の一刻を争う通勤者や、お年寄り、

子母口小学校の皆さん“ありがとう”

高津市民健康の森を育てる会

子母口小の5年生の皆さんが来てくれました

7月7日(木)子母口小学校の5年生210数名が、野外活動授業で「市民健康の森」の自然観察と私たち「市民健康の森を育てる会」の活動の様子を勉強



生徒の皆さんからのお礼の手紙

するために来てくれました。

今年ホタルが乱舞した「ホタルの森」ではゲンジボタルの説明と孵化したばかりの幼虫を、ルーペを使っ

て観察しました。健康の森の「丘」では、育てる会の活動の様子をパネルで勉強しました。また、竹炭焼きや野菜作り、花作りの活動の様子を熱心に見学し、鳥の巣箱作りのお手伝いもしてくれました。竹細工の実演には興味津津の様子でした。

後日生徒の皆さんから素敵なお礼のお手紙をいただきました。5年生の皆さん、引率の先生方!健康の森に来てくれて本当にありがと～う。私たちはこれからも緑の森と自然を守る為に活動を続けて行きますので“皆さん、また来てくださいね～”

市民健康の森 活動日のご案内(9~10月)

*原則:第1,3日曜日、第2,4土曜日毎週木曜日

9月:1(木),4(日),8(木),10(土),15(木),18(日),22(木),24(土),29(木) (4日は全員参加の日)

10月:2(日),6(木),8(土),13(木),16(日),20(木),22(土),27(木),30(日) (2日は全員参加の日)

まちづくり機時記

幼児連れには利用しづらい、何か改善方法はないものだろうか。さらには、近年のマンション建設ラッシュによる人口の増加に伴い、自転車も増え続けているのも確かである。

解決策の方法として、駐輪場の増設をはじめ、駐輪場の利用効率を上げるとともに、駅周辺の方々には健康のために、歩いてと願うばかりである。

旧岡家の跡地をどんな公園に？

アートパーク会議

高津の緑部会

公園のイメージを創るワークショップ

アートパーク会議は 18 年度末完成を目指した市の公園事業計画です。久本にある旧岡家の跡地の薬医門と日本庭園、そして土蔵を残す形でどんな公園にしたいか、市民が意見を出し合いながらまとめています。高津区まちづくり協議会・高津の緑部会からもメンバーが参加しています。11月に成果を発表し近隣住民や区民の意見を伺う予定です。

公園としては、ここにしかない特徴をどのように生かすかが最も知恵のいるところだと思います。



アートパーク会議の様子

以下アートパークのポイントをお知らせします。

歴史の入り口

旧高津村初代村長だった家、医者として地域の暮らしの安心を作り出すとともに文化の担い手でもあった岡家の歴史遺産は地域の宝です。この岡家の歴史から、岡本太郎、濱田庄司という偉大な芸術家を生んだ大山街道を中心とする溝口の歴史を知る入り口を得ることができます。

緑の入り口

この岡家の位置は、久本山の入り口に当たります。

高津区の地形の特徴は、多摩川の崖線として斜面緑地が多く、起伏に富み緑に恵まれています。まさに、多摩丘陵につながる緑の丘へいざなう坂道が、門の前から続いています。

アートの入り口

文教の土壌が育まれてきた溝口を深く知り、これまでの蓄積が若い人々の未来を作る土台となるよう、感性豊かな芸術文化を発信する場としての公園を構想します。

ふれあいのある公園

地域の文化をお年寄りから子ども達に伝えるなど交流が生れる公園とします。安心して小さな子ども達が遊び、親同士が語り、地域の昔からの遊びなどがくりひろげられるような、ふれあい公園。

イベント広場の機能も持ち、日本庭園を背景に、ベンチにも舞台にもなるしつらえを検討しています。そこで、民謡の会や、琉球音楽、能や踊りの会など開催できたら、和の趣きがどんなにか映えることでしょう。

土蔵を残せるか

大山街道には、江戸時代の宿場町として店も蔵もたくさんありましたが、今、その面影はありません。旧岡家の蔵は、戦災で外壁は崩れトタン張りとなったものの、内側はそれほど傷まず残っています。これを修復し、作品展示の場や憩いの場にできれば、歴史教育の場としても有効に使えるはずです。



旧岡家の土蔵

高津のももちゃん紹介(8)

49 溝口緑地 図書館を囲む緑空間



交通量の多い大山街道沿いの溝口緑地は子ども達にも親しまれています。2003年には日亀屋会館前にあった国木田独歩の碑もここに移設されました。

高津区溝口4丁目16-3

[地図 A P57]

高津のももちゃん

身の周りにありながら何気なく見過ごしている高津の魅力を集めた「まちづくり資源集」です。区役所売店にて300円で売っています。

課題の多い福祉問題

高津の福祉を考える会

通算第3回高津地区すこやか活動連絡会開催

去る7月6日(水)すこやか活動連絡会を区役所5階第3会議室で開催しました。今回は前回の提案にもとづき、保健福祉サービス課へ提出の各グループの活動報告、活動予定等の報告と活発な意見交換が行なわれ大変有意義裡なうちに閉会しました。

活動マップの作成準備

すこやか連絡会では、今後の事業活動の拡大・充実を図るため活動マップを作成すべく各活動グループへ活動地域の線引きをお願いし、今後のマップづくりで、お役に立つよう努めたいと考えております。

子育ての活動団体の利用が活発です。

高津区民活動ルーム運営委員会

印刷室に新たな設備導入

製本機に引き続きラミネーター、帳合機、断裁機が導入されました。印刷室を益々ご活用ください。

「楽しい造形教室」ナウシカの会

ナウシカの会は間伐材を用いて森林環境教育に取り組んでいるボランティア団体です。活動場所は小・中学校、イベント会場で間伐の重要性、森林環境保護などの話と間伐素材を用いた工作教室などを行っています。小さいお子さまからお年寄りまで参加できます。

また、月2回「コム・ちどり」にて「造形教室」を開いております。お問い合わせ



ナウシカの会の子ども達

携帯電話 090-1888-1530 関まで

たかつ健康づくり協力店紹介(9)

ホテルメッツ溝ノ口 レストラン

チャイナ桂林(ホテルメッツ溝ノ口2F:862-0281)

駅を見渡せる広い窓・明るいオープンキッチンで

おしゃれな時を過ごしませんか サイズチョイス

.....
以上で社員食堂2店(マルイファミリー溝ノ口、キャンオン玉川事業所)を除く全登録店の紹介を終了しました。

つながるまちづくりを求めて

SAI22

まちづくりの意義を追求しています!

30歳未満の若者で構成されているこのSAI22は、月1回程度をペースに活動しています。若者と言っても学生ではなく、仕事をしながら活動している社会人がほとんどです。そのため平日はみんなで集まることが難しく、最近は休日の早朝に溝口周辺の飲食店等で話し合いを行ったりしています。

メンバーそれぞれのまちづくりに対する思いが異なるため、合意形成を図るのも容易ではありませんが、なるべく多くの人々に、高津のまちにより関心を持ってもらいたいという共通の目的を達成できるよう、その仕組みや方法をみんなで考えています。

活動を始めてからまだ3年目ですが、すでに多くの魅力的な高津の人々に出会いました。これからも様々な分野で意欲的に活動する人達との出会いを大切にしながら高津の魅力を探求し、紹介していきたいと思えます。

他団体情報

かわさき・まちづくり交流会

去る7月18日(月・祭)第10回川崎大師サマーフェスタの行事にあわせて、名所巡りウォークラリーのあと若宮八幡宮境内で開催されました。

特に放置自動車問題について、高津区の取組みの現況を説明しましたが、これに関連し各区がネットワークを組み広く取り上げるようにとの提案がありました。

川崎港湾めぐり(交流会主催)

来る9月5日(月)13:30出発(川崎市船客待合所集合=川崎区千鳥町)

約90分間の乗船予定が計画されています。

【問い合わせ先・連絡先】

高津区まちづくり協議会事務局

(高津区役所地域振興課まちづくり担当)

Tel:044-861-3134 Fax:044-861-3103

E-mail:67tisin@city.kawasaki.jp

URL:<http://www.city.kawasaki.jp/67/67kusei/>

home/kumin/kyougikai/kyougikai-top.htm